

関係各位

2020年7月20日

株式会社パテント・リザルト

## 【自動車部品業界】他社牽制力ランキング 2019

### トップ3はデンソー、住友電装、日立オートモティブシステムズ

株式会社パテント・リザルトはこのほど、独自に分類した自動車部品業界の企業を対象に、2019年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2019」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2019年に最も引用された企業トップ3は、**デンソー**、次いで**住友電装**、**日立オートモティブシステムズ**となりました。

#### 【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2019 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	デンソー	5,211
2位	住友電装	1,057
3位	日立オートモティブシステムズ	975
4位	矢崎総業	918
5位	アイシン精機	812
6位	ジェイテクト	809
7位	日本精工	739
8位	アイシン・エイ・ダブリュ	732
9位	NTN	583
10位	豊田合成	565

1位 **デンソー**の最も引用された特許は「車両用情報提供装置」に関する技術で、トヨタ自動車の5件、本田技研工業の2件など、計10件の審査過程で引用されています。このほかには、ADEKAとの共同出願である「非水電解液二次電池電極用バインダー」に関する技術などが引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019年にデンソーの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は、トヨタ自動車(309件)、次いで三菱電機(233件)、本田技研工業(209件)となっています。

2位 **住友電装**の最も引用された特許は「自動車用制御装置」に関する技術で、矢崎総業の「車両用電気接続装置」と「車両用回路体」など、計6件の審査過程において引用されています。このほかには「導電線、導電線の製造方法及び導電線の配線構造」に関する技術や「通信システム及び中継装置」に関する技術などが、引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019年に住友電装の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は、矢崎総業(247件)、次いでトヨタ自動車(45件)、デンソー(38件)となっています。

3位 **日立オートモティブシステムズ**の最も引用された特許は「走行制御装置、車載用表示装置、及び走行制御システム」に関する技術で、デンソーの「車両制御装置」関連特許など、計8件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2019年に日立オートモティブシステムズの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はデンソー(125件)で、トヨタ自動車(67件)、本田技研工業(54件)と続いているいます。

そのほか、4位の**矢崎総業**は「聞き逃しの可能性を減じることができる車両内の警報装置」、5位の**アイシン精機**は「両手が塞がっていても、選択的に開閉できる車両用開閉体作動装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2019年12月までに公開されたすべての特許のうち、2019年1月から12月末までの期間に拒絶理由(拒絶理由通知または拒絶査定)として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2020年5月29日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

業種は総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

また弊社では、本ランキングの詳細データを下記の通り販売しています。

#### 【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2019 ご提供データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

1) ランキングトップ50社

自動車部品業界の被引用件数上位50社のランキング

2) 被引用件数上位100件のリスト

自動車部品業界の被引用件数上位100件及び引用先の特許との対応を掲載

▶価格：50,000円(税抜)

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>